



未来社会健康デザイン拠点 コンソーシアムのご紹介



TOHOKU
UNIVERSITY

国立大学法人 **東北大学**



未来社会健康デザイン拠点
DESIGNING FUTURE HEALTH INITIATIVE

未来社会健康デザイン拠点 (DFHI: Designing Future Health Initiative)

設立背景



拠点長：永富教授（右）
副拠点長：中澤教授（左）

拠点概要・ビジョン

ポストコロナの健康社会ビジョン

- ひとりひとりが自分の心と体をわかって幸せのためのマネージメントが自分でできる社会
- 自分でどうにもならないときのための医療

さりげないセンシング×データ解析×リテラシー
 →「しあわせ」への行動変容
 新規非医療・健康増進ビジネスの提案

新たな価値創造

- ・BUB産学連携
- ・競争的資金活用
- ・人材育成など

未来社会

健康デザイン拠点

ビジョン主導型領域横断的研究開発拠点
 (東北大学社会にインパクトある研究)



2022.3



COI 東北拠点

さりげないセンシングと
 日常人間ドックで
 実現する
 自助と共助の
 社会創生拠点

はかる わかる おくる かわる

B1 恒常性維持



未来の幸福な恒常性維持型
 健康社会の実現・
 ライフスタイルサイエンス

はかる わかる おくる かわる

2021.4

総合的バイタルセンシング
 &
 情報提供プラットフォーム

DFHIコンソーシアム形成 (R4開始)

COIメンバー：BUBとして継続・拡大

新規加入

新規加入

あっと株式会社 NEVER SAY NEVER
 ロート製薬
 TOPCON QD LASER
眼と健康 BUB
 眼の検査とケアから始まる健康にフォーカスしたビジネス構築を行う医療ヘルスケアデータ流通基盤の構築

わかさ生活
食事BUB
 血圧と塩分摂取に関する研究開発、及び血流状態改善にかかるサブメメント開発を進め、食と健康のビジネス構築を行う

暮らしBUB
 「さりげないセンシング」と「日常人間ドックシステム」を導入・活用した新たな住宅を企画・検証する

TKYU SPORTS
 ELECOM dentsu
運動BUB
 健康課題解決にむけて運動を中心とした日常人間ドックシステムを活用したサービスセットを構築する

KAGOME OMRON
旅行BUB
 「さりげないセンシング」と「日常人間ドックシステム」を導入・活用した新たなヘルスツーリズムを企画・検証する

anabun
鏡時間 BUB
 「魔法の鏡」の社会実装を進め、「鏡を見る」という人間の何気ない行動に基づいたビジネス構築を行う

新規参加
 COI-NEXT
 事業参加希望
 メンバー
 ・企業
 ・研究者

新規参加
 ・企業
 ・研究者

参加・協力
 ・学生
 ・市民グループ
 ・各種活動団体

未来社会健康デザイン拠点 (DFHI) の機能・取組

- 1 未来ビジョンの策定機能
(共感が得られる未来社会をデザイン)
- 2 マルチステークホルダー (領域横断型) 研究開発機能
(みんなの未来社会: 多様な役割・ルール・技術・ビジネス)
- 3 地域社会・国際社会との連携機能
(多様な立ち場からのわが国の立ち位置の明確化)
- 4 大学/社会を変える人材育成機能
(未来への先行投資)
- 5 拠点発展のための持続的なプラットフォーム維持
(挑戦的な取り組みができるアカデミアの開かれた活用)

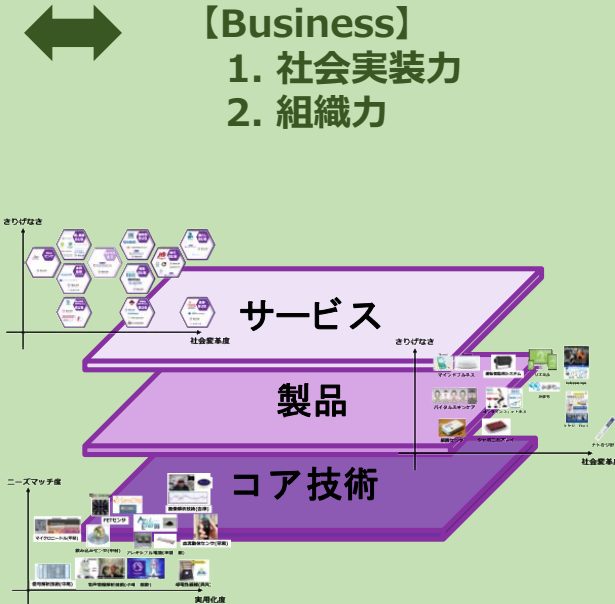
〈新拠点の価値〉

【Academia】

1. 領域横断的人材育成機能
2. 学術的なエビデンス (PoC)
3. 信頼性の高いデータとDB
4. 先進的コア技術

【Business】

1. 社会実装力
2. 組織力



プラットフォーム機能：
知財・研究倫理マネジメント

COI拠点での強み・経験・アセットを活用し拡大

- ・ビジョン創出・バックキャストによる**デザイン・企画プラットフォーム**
- ・日常人間ドックのデータプラットフォーム
- ・若手育成・デザイン人材育成プラットフォーム
- ・URAによる異分野融合・学際的研究研究経営プラットフォーム
- ・世界をリードする研究プラットフォーム
- ・地方自治体との協業を展開できる地域連携プラットフォーム

Parade Books

日本オープンイノベーション大賞
選考委員会特別賞受賞!

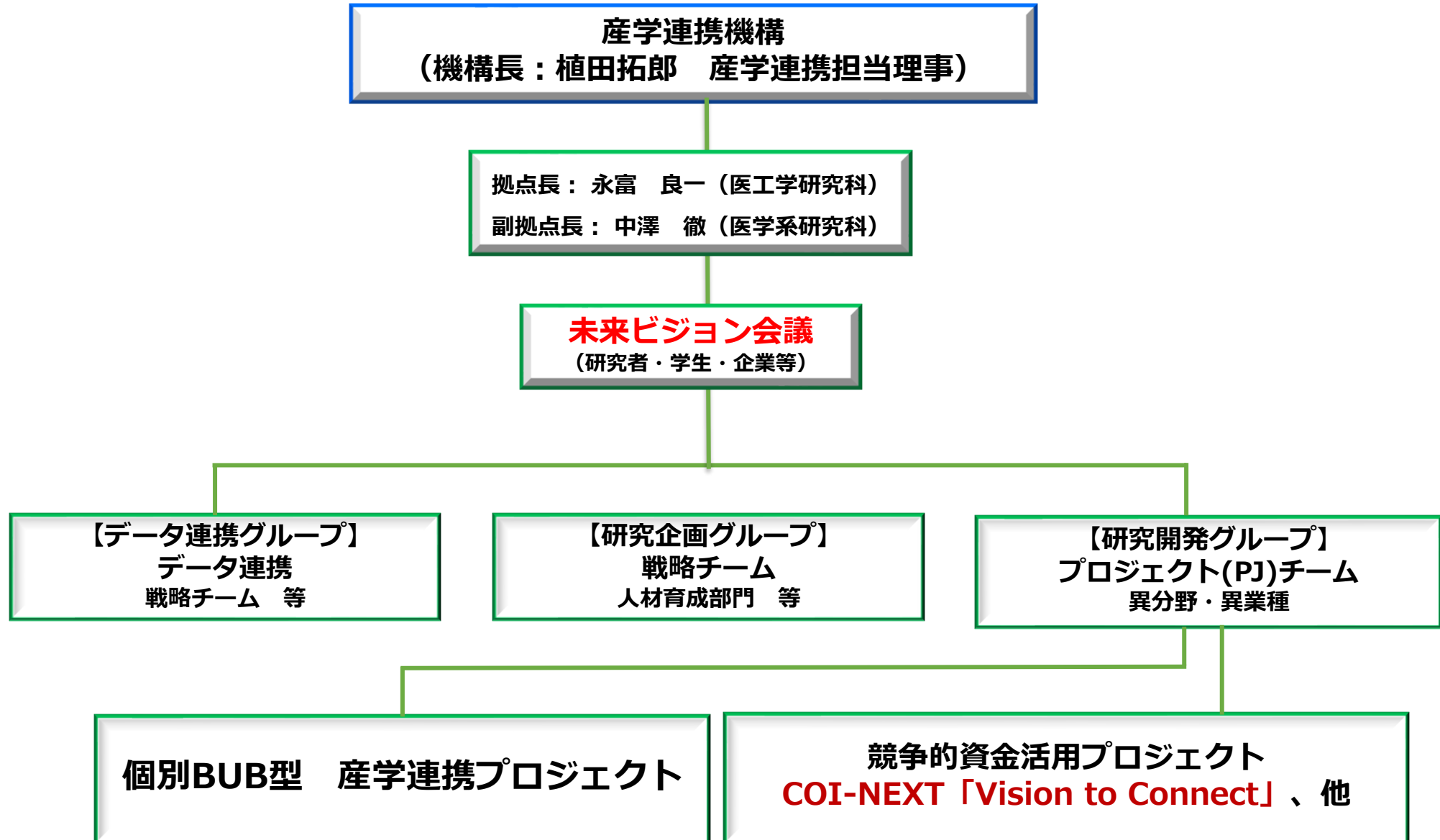
20年後の健康を「いま」考えよう。

健康な生活をサポートする為、科学者と企業が協力し生み出した、日常の中で気軽に健康を把握できる仕組み「日常人間ドック」。未来を健康に過ごす為のヒントを、一緒に考えてみませんか?

日常人間ドック
2040年からのヘルスメッセージ

大切な人と自分のために

GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞



未来ビジョン会議や各種イベント

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



学生・若手研究者等との未来ビジョンWS
「未来のありたい暮らし」、「ゲノム情報と生活」など

各種のシンポジウムでの意見
「食とライフスタイル」、「子育て」など



異分野研究者・異業種企業等による
提案ビジョン検討WS

研究課題・拠点機能の設計にむけた
ステアリングコミッティメンバーでの議論

個人個人が健康に生きていくために、寄り添い、信頼できる情報が得られる総合健康デジタル基盤と、その情報を生かすプロセスを確立することが必要。

第1回未来ビジョン会議

2021.03.15 ◆「未来（10～30年後）の社会」

第2回未来ビジョン会議

2021.06.09 ◆「ゲノムの未来」

第3回未来ビジョン会議

2021.10.21 ◆「旅の未来」

第4回未来ビジョン会議

2022.01.14 ◆「健康未来社会とは」

第5回未来ビジョン会議

2022.01.28 ◆「眼と健康にむけた行動変容」

第6回未来ビジョン会議

2022.04.21-22 ◆「共創の場形成支援プログラム再挑戦にむけて」

学生向け、企業向けなど関連会議を継続的に開催

様々なフィールドで活躍するステークホルダー（研究者、企業、自治体、学生、市民、若手、シニア）とともに、バックカスティング型の未来ビジョンを提案



別表 (未来社会健康デザイン拠点コンソーシアム・メンバーシップ参加料)

種別	メニュー
50万円 【正会員】	<ol style="list-style-type: none">1. 未来ビジョン会議への参加2. コンソーシアム会議への参加（年複数回開催の東北大研究者によるレクチャー・ニーズ提案・マッチング・企業間報告・交流会等）3. コンソーシアム限定イベントへの参加（不定期開催のセミナー等）4. 共同研究契約の締結支援、共創研究所・共同研究講座等の設立支援5. 施設（レジリエント棟）内における共用設備等の利用 共用設備等： BUB連携ルーム（入退室ICカード：1枚） ／無線LAN（1PW）／来客用ロッカー（1つ）
10万円 （オプション）	<ul style="list-style-type: none">・商標「日常人間ドック」及びグッドデザイン賞Gマークの一定条件下での使用
0万円 【オブザーバー】	<ul style="list-style-type: none">・未来ビジョン会議への参加・コンソーシアム会議への参加・拠点活動・イベント等の情報提供

※1. コンソーシアムでの活動においては、秘密情報のやり取り、知財は生じないことを前提

※2. 「共創の場形成支援事業（COI-NEXT）」等に関する場合は、別途、秘密保持に関する契約をする



未来社会健康デザイン拠点
DESIGNING FUTURE HEALTH INITIATIVE

自律的なイノベーション プラットフォーム稼働

- ・ 組織の壁を越えた新しいアンダーワンルーフ組織設計
- ・ COI 活動で始まった地域を包含したコンソーシアム、関連した民間資金と、新しい企業リソースの活動
- ・ デザイン機能を保有する未来ビジョン駆動型研究開発組織



「コンソーシアム活動での会議体」と「COI-NEXT活動」の位置付け

会員特典

COI-NEXT活動

コンソーシアム内

コンソーシアム外

正会員
〈企業等〉
(50万円)

各会議体の
参加者上限
は5名

オブザーバー
〈市民、個人、
非営利団体等〉
(無料)

各会議体の
参加者上限
は2名

ゲスト/招待者
(無料)

情報提供
(メーリングリスト)

未来ビジョン会議参加
(四半期一回)
(招待者)

NDA無し
(自由に議論)

DEHI「コンソーシアム会議参加」
(月1回)
(拠点が許可した場合)

NDA無し
(自由に議論)

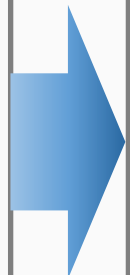
コンソーシアム
限定イベント参加

共用設備利用

個別相談

双方向NDAの
締結
(大学雛形)

必要に応じて
締結



COI-NEXT 参画
個別BUB
ミーティング
企業間連携
会議
ダイバー
シティ会議
(拠点が許可した場合)

協定同意書の提出

個別相談

双方向NDAの
締結
(大学雛形)

必要に応じて
締結